

平成19年度農作物病虫害発生予察警報第1号

平成19年8月16日
山口県

病虫害名 水稻のトビイロウンカ

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 8月下旬～9月上旬（幼虫最盛期（第二世代））

3 発生程度 多

4 警報発令の根拠

平成19年7月30日付けで農作物病虫害発生予察注意報第3号を発令し、トビイロウンカに対する防除の徹底を図っているところであるが、8月7日～9日に行った巡回調査の結果、発生ほ場率は51.2%で、7月下旬に比べて約2倍に増加していた。

(1) 要防除水準に達しているほ場率は29.1%で平年の約4倍であった（表）。

(2) 増殖率が高く、坪枯れの原因とな短翅型成虫数は10株当たり2.0頭で、平年の20倍であった（表）。

5 防除方法

(1) 防除時期

防除時期	品種	防除の目安	備考
8月23日 ～9月5日	コシヒカリ等 極早生品種	多発生が確認された場合	早めの防除を心がけること。 防除にあたっては使用する農薬の収穫前日数を確認すること。
	ヒノヒカリ等 中生品種	成幼虫数が1株当たり 5頭以上	

(2) 防除薬剤

防除薬剤は、平成19年山口県農作物病虫害・雑草防除指導基準による。

6 防除上注意すべき事項

(1) ほ場での発生状況を確認し、残効性に優れる薬剤により防除を的確に行う。

(2) 薬剤が株元にかかるように、丁寧に散布する。

(3) 収穫期が迫り薬剤散布ができないほ場は早めに収穫する。

(4) 防除にあたっては、適正な薬剤散布作業の実施、使用基準の遵守など安全で効果的な防除に努める。

表 トビイロウンカの巡回調査結果（8月7日～9日）

調査項目	本年	平年
要防除水準ほ場率(%)	29.1	7.7
10株当たり 短翅型成虫数(頭)	2.0	0.1

JPP-NET病害虫発生予測システム

飛来日	8月				9月					
	10:	15	20:	25	1	5	10:	15	20:	25
トビイロウンカ										
○ 6月25日			o o o o o o	@ @ @ @	o o o o A A A A	A A A A A			o o o o	o o o o @ @ @ @ @ @
○ 7月2日	A A A A			o o	o o o o @ @ @ @	@ @ o o o A	A A A A A A A A	A A A A		o o o o
☆ ◎ 7月4日	A A A A A				o o o o o o @ @ @ @	@ @ @ o o o	A A A A A A A A	A A A A A		o o o
☆ ◎ 7月6日	A A A A A A A				o o o o o o @ @ @ @ @ @	@ @ @ @ @ o	A A A A A A A A A A	A A A A A A		
○ 7月10日	o o A A A A A A A A				o o o o	o o @ @ @ @ @ @ @ o	A A A A A A A A A A	A A		

予測日 2007年 8月 9日

凡例 A : 成虫 - : 卵 o : 幼虫 @ : 防除適期
 ☆ 主要な飛来 ◎ 多飛来 ○ 並飛来 △ 少飛来

防除適期

図 トビイロウンカの防除適期予測図